



6月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

初夏の爽やかな陽射しがあるかと思えば、肌寒い雨が降り、体調管理が難しい時期です。

春休みから建替工事をしていた南棟（さくらんぼ組の部屋）がようやく完成し、久しぶりに園庭全部が使えるようになりました。なお南棟の2階は、多目的に使いたい、保護者の皆さんにも活用していただきたいと思っています。

さて、園ではジャージにポロシャツ、トレーナーの私ですが、会議や会合へはジャケットにネクタイをして出かけます。先日も、夕刻からの会合へ4時30分のバスに乗ろうとネクタイをして職員室を出たら、プレイクラブが終わって帰る子どもたちが職員室の前に並び始めていました。

「えんちょうせんせい、これからオシゴトなの？」年少組の女の子です。

実はあまり気乗りしない会合でしたが、関係者とのお付き合いも大事な仕事です。

「うん。そうやねん。」

気持ちが声に表れて、沈んだトーンになってしまいました。

「いってらっしゃい。オシゴトがんばってね。」

ニッコリ笑って手を振ってくれます。

「どこで」とか「なんで」ではない予想外の返しに、足が止まってしまいました。

「うん。ありがとうございます。行ってきます。」

須磨駅に向かうバスの中で、「幼稚園でも仕事してるんやけどね」とニヤつくのを堪えながら（一人ニヤニヤしてたら間違いなく「変な人」だ）、元気になっている自分に気づきました。

私たちは毎日、子どもたちが可愛く愛しいからだけではなく、神さまが注いで下さる愛を伝えようと保育をしています。今日の「いってらっしゃい」は、神さまの「あなたのことも同じように愛しているよ」というメッセージかも、と思いました。

園庭が元通りになり、さくらんぼ組も始まって、活気あふれる「動き出す」毎日になります。子どもたちの育ちの土台となる「根っこ」を、大きく強く育てていきたいと思っています。

年主題 『イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で～』

<年主題聖句> 「愛する者たち、
神がこのように私たちが愛されたのですから、
私たちが互いに愛し合うべきです。」
(ヨハネの手紙Ⅰ 4章11節)

6月主題 『動き出す』

<聖句> 「空の鳥をよく見なさい。」
(マタイによる福音書 6章26節)